



生長の家山梨県教化部は2007年6月21日にISO14001の認証を取得し、地球環境保全に取り組んでいます。



〒406-0032 笛吹市石和町四日市場1592-3 宗教法人 「生長の家山梨県教化部」 TEL 055-262-9601 FAX 055-262-9605 発行人：井下 昌典 編集：編集委員会 E-mail sni-yamanashi@nifty.com ホームページ https://sni-yamanashi.org/



教化部長 井下 昌典

「礼儀正しい 山梨県の学生」

山梨県民になって一年九カ月が経とうとしています。着任した時から感じていたことがあります。それは、歩行者のマナーについてです。

自動車運転中に横断歩道で一時停止した時、中高生かなと思うのですが、横断歩道を渡りきった後、運転している私に向けて頭を下げてくれたのです。「ありがとう、ごいしました」と心の声も聞こえてくるようでした。また、ある時は、学生男女(恋人同士?)が仲良く横断していて、渡りきると運転している私にくるりと振り向き、二人そろって九〇度にお辞儀をしてくれたのには驚きました。

地域性なのか、学校で教えられているのか、親御さんから教えられていることなのかは分かりませんが、私が遭遇したのは主に韮崎駅前と石和温泉駅前でした。素晴らしい行動だなと感心したと同時に、

このように礼儀正しい学生達を育ててくれている山梨県は素晴らしいところだなと思えました。善意の連鎖とでも言うのでしようか、次に私が同じような場面に遭遇したら実践しようと思ひ、今では私も歩行者の時は「ありがとうございます」とお辞儀するように心掛けています。話は変わりますが、脳科学者の茂木健一郎氏の著書「化粧する脳」に次のことが書かれていました。

世の女性はその実質において「女」と「オバさん」に分かれています。若さとか、見かけの問題ではない。隠すのが上手いのが「女」である。ところが、女性が「オバさん」化してしまうと、「隠す/見せる」のコントラストを欠いてしまう。それは化粧の問題ではない。「言動」の問題である。時も場所も相手も選ばず、何事も包み隠すことをしなくなってしまうのだ。僕はこれを「無意識の垂れ流し」と名付けている。さらには言動について

て次のように書かれていました。たとえば、大勢の人が集まる場で、冷房の効きが弱いのか蒸し暑かったとする。そんな場面でも「オバさん」は、会場に入った途端、声をあげてしまう。「あー、暑いわね、暑い。暑いわね、暑い暑い。クーラー壊れているのかしら。のど乾くわね。ほんと暑い。窓、開けた方がいかしらね……」と。このように思ったことを逐一言われ続けると、同席者にとつてはノイズになってしまふ。周りは聞こえぬふうでもしてやり過ぎず、しかなくなる。「一番暑苦しいのは誰だ?」と心の中でつぶやきながら。

「女」は思ったことのすべてを口にしようとはしない。だから「この部屋、暑いですわね」と一言言った途端、周りの男達はそれわい飲み物を持ってこようか?」「窓、開けようか?」。それとも、彼女はどこか外の涼しいところに自分と一緒にきたがっているのかもしれない……。男はこういう状況になると、

られなくなる。彼女が発した「暑いですわね」と、必死になつてしまふ。要は、発した言葉に駆り立てられるのではない。隠された言葉に駆り立てられるのだ。解くことの出来ない、つかむことの出来ない不確実性を志向してしまふのは、意識を持った人間の宿命でもある。

ここには特に女性に閉じてだけ書かれています。女問わずで、心で思ったことをどのよう表現するかが問題となつていきます。更に言うと、表面上の言葉と心の思いに関する事にも触れられています。生長の家は、言葉をとて大事に考えます。そしてカタカナ表記で「コトバ」と表すことがありますが、その「コトバ」には「身・口・意(しん・く・い)」の3つの要素があると説いています。「身」は身振りや表情。「口」は発声音。「意」は心で思う。私たち人間は、行動や、発声音として言葉に出す前にまず「意」心で思っています。それを何も考えずにそのまま言葉に出すことで

誰かを傷つけたり、周囲に悪い影響を及ぼしたりしてしまうこともあるのです。そして、その悪い影響はやがて発信元の自分に返ってくるということになるのです。翻つて、誰かを勇気づけて、周囲をよくこびや明るい出来事を与えた場合は、そのよるこびや明るい出来事は発信元の自分に返ってくるという事になります。

世の中には、大きく分けると周囲の出来事になるべく明るくポジティブに受け取る習慣が身についている人と、一方で何事も暗くネガティブに受け取る習慣が身についている人がいるようです。物事の受け取り方が心の思いに反映し、それが自分の人生に影響を及ぼすならば、明るくポジティブに受け取る習慣を身につけたほうが断然良いことになります。そのため、練習が生長の家でお勧めしている「日時計主義」の生きた方です。そしてその練習が「日時計日記」です。明るくポジティブに物事を受け取ることで、私毎日欠かさず書いています。



前述の「化粧する脳」に書かれていた「女」と「オバさん」の例で、茂木健一郎氏曰く「女」は口数が少ない。心に思ったことのうち何を表出するかを考え、言葉を選ぶからだ。だから「無意識の垂れ流し」ではなく、また、感情に任せてものを言うのでもなく、言葉を選んで表現することは確かに大切だと思えます。しかし、無意識でも物事を明るくポジティブに表現できるとしたら、更に素晴らしいことになるのではないのでしょうか。その上で状況を正しく理解し、傾聴する力を身につけたいものです。そうすると、私たちの言動は「無意識の垂れ流し」ではなく、礼儀正しい学生達を生み出す山梨県に相応しく「無意識の宝石箱」になるのでは？

白鳩会

「誌友会はうれし
たのしい元気の源」
白根支部
遠藤あつ子

合掌、ありがとうございます。卒寿に向かって走り始めている会員の名取永子さんと私は、毎月の誌友会をとっても楽しみにしています。名取さんは、数十年前に住宅を新築した時、ご主人に誌友会を開けようとお部屋をお願いしたそうです。そしてその誌友会が、体調の悪い時以外は毎月続けられています。うれしいことに、先月の誌友会ではお孫さんに授かった赤ちゃんを、早速聖使命会に入れたという話をしてくださいました。常に前向きに生活し活動されています。誌友会が開かれる日は、本当に楽しそうにうれしそうに、元気に精を出して身支度を整えているので家族にもとても喜ばれています。一人住まいなのですが、近くに住む娘さんがお勤めの行き帰りに毎日お世話されています。

さて、二月の誌友会には山口かおり講師に出講して頂きました。白鳩誌当月号をテキストにP28「取越苦勞をするな」の項を全員で輪読し、その後それぞれが話し合いました。その中で私は、「このような体験をしました」とお話させて頂きました。私が長年住んでいるこの団地は、毎月の自治会費を月の始めに組長さんに届けるのが決まっていたのですが、何時しか自然に組長さん宅の新聞受けに投げ入れるようになってきています。現在は、私が組長をしています。その集金袋に受領印を押して各戸にお返しします。ある時ふと気が付いて、近頃お隣の奥さんの姿が見えないので集金袋にメモを載せました。そのメモには、「近頃姿が見えないけれどお元気ですか？笑顔に会いたいですよ。」と書いてお返ししました。各戸別の方にも「何時も協力ありがとうございます。」や「早朝よりウォーキングすばらしいネ。」等の明るい言葉をメモして返しています。集金袋にメモをつけ

てお返ししているうちに、「体調不良で内科と婦人科に行き心配でたまらない」というメモが入っていました。そこで早速私の出番だと思い、メモ書きに「貴女はあーなったら困る、この様になつたら困ると、苦しみを想像して悩んで居ると、身体も気持ちも重く不安になるでしょう。内科も婦人科も担当して下さる医者に見て全面的に信頼し、もうすでに良い方向に成りつつあると信ずる事です。よさあ明日から外へ出て一緒に散歩しましょう」と書いて返しました。翌朝、奥さんはニコニコと笑い乍ら、「あのメモを何回も何回も読みました。本当に有難う。」と話してくるので、私も大きく頷き「さあ、元気に歩きましょう。」と誘い、一緒に散歩すると身体も心も共に太陽の光を浴びて解放されていき、とても清々しい気持ちになりました。現在の年齢や自分の立ち位置で出来る事を常に考え、ささやかであつても近所の皆さんと仲良く助け合い、明るく生活していきたい。いつも思っています。

そういう思いでいられるのも、毎月の誌友会での真理の研さんのお陰だと感謝し、来月もまた、うれしかったのしい誌友会を心待ちにして居ます。
再合掌



相愛会

「春は桜」

長坂相愛会

綱川 幸秀

平成3年の春、生長の家本部に奉職し、33年後の今年、令和6年の春、私は定年退職する。生高連活動を終えた高校3年の18歳の春にこんな文章が書かれていた。

清き小川の流に舞う一房の梅の花弁に、

全ての思惑が注がれています。その不規則な動きは、人の心を惑わす曖昧な香りを残します。何が一人人間をこれほどまでに潜ませるのでしょうか。春の木々は息を吐いているのです。まだ春浅い寒さの残るある朝、吐息の白さに遊んでいると、ある定まりのあるような息づかいが道端の青葉を待つ木々からも感じるようになってきました。朝霧のようなその白い息は、かわいた樹皮をみるみるうちにぬらし、ひっそりと人ゴミの中へ消えてゆくのです。風と共に春が訪れ、一面桜の花で満たされているはずなのに、ぶり返した寒さにどれもある曇天の朝、桜たちはいつせいに花を開きました。

しかし、それから春の長雨が一週間も続いた。濡れたしまった満開の花弁は、その重さに散って行きました。若さゆえの透明過ぎる信仰とこれからどう生きればよいのか迷う自分が、このあと書かれていた。それから数年、十年ほどたったある日、やっとな清超先生著の



『生きる』という本に出
 会い、なんとか解答を得
 たような気がして落ち
 着いた。
 本部ではイロイロな
 ひとに出会い、イロイ
 ロな事を学んで、先日
 の立教記念日では「温
 故知新」という言葉を
 雅宣先生からいただいた
 だ。それでこの原稿が
 できたのかもしれない
 ……
 今思えば、感謝、感
 謝しかない。赦すべき
 人を赦し、謝るべき人
 には謝り、協力者には
 感謝し、これからの第
 の人生の旅に出るわ
 こうか。さてどこに行
 くかな。

そこで一句！
 青春を思えば楽し
 未知の旅
 Y.M. Tsuna
 ※ここでは「青春」
 が季語です。

青年会

「生長の家に触れて」
 岸田 裕子

合掌、ありがとうございます。
 私が生長の家に触れ
 たのは、高校生の時で
 した。当時の私は、人見知
 りが激しく、人間関係
 に悩んでいました。そ
 んな時、数年前から誌
 友会に通い始めた祖母
 に誘われて、始めた祖母
 鳩会の方に開催する誌
 友会に参加しました。講
 師の方に歓迎された。講
 師の参加する前の不安
 だった気持ちが和らぎ
 ました。講師の方から
 は「相手の人は自分
 映す鏡だと言われて
 ます。鏡に向かっ
 顔の練習をしたら、い
 ですよ」というアドバ
 イスをいただいた。それ
 から笑顔の練習をして
 今でも鏡に向かっ
 いかけられるように
 ます。少し経って、青年
 の方から声を掛けて
 た。だき、中高生誌に
 りも参加する。青年
 も入会しました。教
 大会に参加した。区
 た。か、協力を運んで
 て、か、協力を運んで
 る姿が行事でも輝いて見

えました。私も青年会
 の皆さんのようになり
 たいと思いました。青
 年会の幹部の方に「私
 にも何か青年会のお手
 伝いをさせてください！」
 とお願いしました。
 それから、家庭訪問
 に連れて行って貰った
 り、行事にはできるだ
 け参加しました。幼稚
 園教諭となり、充実し
 た。毎日を送ってしま
 た。が、何年か経って休
 調を崩してしばらく休
 めることにしました。
 めることにしました。
 色々と迷惑を掛けて
 り、宇治の短期練成会
 に参加しました。
 浄心行を受けた時、
 その年に亡くなった祖
 父の笑顔が浮かんでき
 て、「大丈夫だよ」と聞
 こえたら、涙が溢れて
 涙が溢れてきました。
 を練成会で講話や行
 のあたたかさを、宇治
 心が癒やされ、体調も
 少しずつ良くなりまし
 た。その後、三重県教
 化区青年会事務局長を
 拝命しました。それま
 で、学んだり、活動す
 る楽しみ、仲間で活動
 が、自分には必要とさ
 合せて、心を底から



喜びだと感じるよう
 なっていききました。教
 区青年会委員長だった
 主人と結婚して2年後、
 主人の本部奉職が決ま
 り、山梨県に引っ越し
 てきました。令和4年
 5月から、山梨県教
 化区奉職し、教区青
 年会事務局長を拝命し
 ています。
 私は生長の家に触れ
 ることができた、周囲
 の方々が優しくあたた
 かく接してくださった
 かげで、少しずつ毎日
 を明るく楽しく過ご
 るようになりました。
 もともと生長の家の家
 庭ではなかつたですが、
 活動や教化部の奉職に
 も賛成してくれた両親
 や祖父母にも感謝して
 います。
 これからも生長の家
 の信仰と、少しずつ自
 分にできる活動をして
 いきたいと思ってお願
 いいたします。
 再 拝



山梨教区青年会 メールアドレス
sni.yamanashi.seinen@gmail.com
 生長の家山梨教区青年会 Seicho-No-Ie Yamanashi Youth and Young Adult Association

「三月度 聖使命会感謝奉納祭」 ・リーダー会議

二月二十九日(木)、
 久しぶりに長坂集会所
 で聖使命会感謝奉納祭
 を執り行い、その後リ
 ーダー会議を開催しまし
 た。
 当日は久々の対面の
 ため、準備などでも少
 し戸惑うこともあり
 ました。が、聖使命会
 感謝奉納祭では、皆
 さんと一緒に「聖使
 命菩薩讃偈」や「聖
 命甘露の法雨」を誦
 誦でき、気持ちも一
 つになつたように感
 じました。
 会議終了後、「皆
 さんと顔を合わせ
 て話ができて嬉し
 かった」といふ感じ
 想もいただきました。
 た。これから対面の
 青年会行事も増え
 す。いくと思いたご
 案内させていただきます。
 有難うございます。
 地方講師会への寄稿
 は初めてさせて頂きま
 す。今回「早朝行事」
 について書こうと思
 います。
 生長の家に神縁を頂
 き入信させて頂いたの
 は平成十九年七月で
 した。父母が信徒だっ
 たお蔭だと感謝してい
 ます。
 平成二十二年講師補
 に合格しその後、古川
 教化部長より早朝行
 先導のお誘いを頂き今
 日に至っています。
 部長宅まで車で、お
 えに上り教化部会館
 大拝殿にて早朝行事
 導をさせて頂きました。
 終わると教化部の一階
 で教化部長と各自で持
 ち寄ったおにぎりや朝
 食をお話しながら、真
 がお話を語り合っ
 があらせて頂きました。
 ごさる参加者は、部長
 と二人の時もあり、ま
 た三人の時もあり
 ました。
 六、早朝行事を担当
 は私を含め一人とな
 方も先導一人となつ
 来ました。毎回一人
 殿の奥から、「ピシッ

地方講師会

地方講師 石原 民雄



「ピシッ」とラップ音が近づいて来ていました。「神様が天上楽を奏でてくださったているんだな一人じゃないんだ神様と共に神想観を实践させて頂いているんだ。」と喜びの神想観をさせて頂いていました。

また、自身がそのまま宇宙なんだと導かれた時もありました。そして世の中はコロナ禍となり確実に一人での早朝行事となりました。その時分に綱川長坂相愛会長から、「今は、対面行事は出来ないし通うには距離があるのでリモートで早朝行事をして貰いたい」と要望があり、教化部からラインにて二人で早朝行事を始めることになりました。早朝行事を実行していただきました。その頃、相愛会正副会長・相愛会長合同会議で今ラインでやっている事を会議で発表した所、教化部長より「早朝行事のり

いずみ生命学園

感謝合掌再拝

とき…三月二日(土)
14:00~16:00
ところ…北杜市大泉
10区公民館

モートを正式にやりましょう。」と提案があり、山梨のラインでの早朝行事が始まり昨年、井下教化部長のご指導により新たに早朝行事のプログラムが整備されています。今日では登録されている方が三十九名いらつしやいます。

これからも「御心の天に成る世界既に地に成就せり。」と祈りながら皆様と共に神想観を実修してまいります。有難うございます。

朝礼で、開会の祈り、大調和の神示、『神さまと自然とともにある祈り』の言葉を全員で唱えました。

三月一日は「生長の家」の立教記念日であり、今年95年目をお祝いしました。

生長の家の初代総裁先生が「谷口雅春先生」で、二代目総裁先生が「谷口清超先生」、三代目となる現総裁先生が「谷口雅宣先生」であることを話しました。

そして生長の家では人間は皆すばらしい神の子であることを教えてくださっていることとお話ししました。

そのあとは、田中絵里菜さんに「おひなさまになつたにんぎょう」の紙芝居を読んでもらいました。

朝礼後は、ひな祭りのひな人形を折り紙で作りました。折ったお人形を紙のお皿にのりで固定し、お皿が立つように工夫をしてできあがりです。少し難しく時間がかかりましたが、とてもすてきなひな人形ができあがりました。

今回は、渡邊雅子地区連長からうぐいす餅の差し入れがあり、みんな大喜びでした。



どうもありがとうございました。ご参加下さいました皆さま、ありがとうございました。

参加者…近藤仁美、宇都宮詩織、宇都宮実莉、宇都宮七海、矢野日菜

保護者…矢野優(矢野桜子・赤ちゃん)、スタッフ…田中満子、田中絵里菜(敬称略)



「生長の家オープン食堂」は、2023年9月~2024年2月までに毎月(6回)開催し、延べ144食を提供させていただきました。9月~12月までは専属の担当で調理していましたが、2024年1月からは地区ごとに調理担当者が、代わって開催する事になりました。素人の撮った写真ですがご覧ください。次回は是非貴方もご賞味されては如何ですか。

<p>2023年9月 キーマカレー、わかめ・もやしのご類の和え物、牛乳寒天</p>		<p>2023年10月 ホタテ炊き込みごはん、車麩の唐揚げ、ナポリタン、お吸い物</p>		<p>2023年11月 ほうとう、ひじき煮物、いもきんとん、おにぎり、みかん</p>	
<p>2023年12月 そば、ご飯、いわしのかき揚げ、大葉いも、ババロア</p>		<p>2024年1月 ちらし寿司、白玉あずき、大根の漬け物、かき玉汁、果物</p>		<p>2024年2月 ご飯、春巻き、ちくわの磯辺揚、コーンスローサラダ、味噌汁</p>	

建国記念の日祝賀式

二月十一日、教化部に於いて、「建国記念の日祝賀式」が開催され、総数二十九名の参列がありました(ネット十二名、教化部参列十七名)。

始めに、国歌「君が代」を斉唱し、伊勢皇大神宮並びに橿原神宮遙拝を行いました。お祝いの言葉、教化部長挨拶の後、紀元節奉祝歌を斉唱し、万歳三唱で終了しました。
ご参列いただきました皆様、ありがとうございました。



↑ 教化部長挨拶
↘ 西村相愛会連合会長によるお祝いの言葉
← 万歳三唱



先祖感謝供養祭

二月十一日、「建国記念の日祝賀式」の後、「先祖感謝供養祭」が行われました。

参列者は総数三十名でした(ネット十三名、教化部十七名)。
参列者は、真心を込めて、聖經『甘露の法雨』一斉読誦、焼香を行いました。当日は、九二九柱の霊牌が招霊されました。招霊祭員をしてくださいました皆様、ご参列いただきました皆様、心より感謝申し上げます。



オープン食堂

二月十八日に、教化部に於いて、オープン食堂が開催され、運営委員も合わせて三十三名の方にご参加いただきました(初参加二名)。

今回のメニューは、ちくわの磯辺揚げ、春巻き、コールスローサラダ、ごはん、おみそ汁でした。
運営に携わってくださった方々の感想を掲載させていただきます。

・ オープン食堂の良さというのには実際に参加してみないとわからない部分もあるため、一人でも多くの方に参加していただくための取り組みをして行く方が良いと感じました。

・ 今回お誘いした初参加の方で「食事がとてもおいしかった」という感想をいただきました。駐車場係の方や、受付の方も笑顔で感じが良かったです。

・ 今年度から賄いが地区担当となり、今回が

初めてだったので、事前にLINEグループを作り、綿密な打合せをしました。

まず、メニューの手順説明から、誰が何を担当していただくか、そして、当日の集合時間の徹底・調理に入る前の準備の確認をしました。

今回は、5人の体制でそれぞれの力量を発揮して、責任をもってやってくれましたので、とても流れもスムーズに和気あいあいと楽しい時間を皆さんと共有することができて、素晴らしいチームワークに心より感謝です。料理内容も地産地消にこだわり、体にやさしい地球にやさしいメニューをセッティングさせていただきました。

参加者の皆様も「とても美味しかった」と喜んでくださり、こちらもとても幸せな気持ちになりました。

ご参加いただきました皆様、運営委員としてご奉仕くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

「生活の記録表」を記入して CO2の削減に取り組もう!

「生活の記録表」2024年度版は、機関誌『生長の家』1月号に同封されておりました。これは皆様の個人或いはご家庭のCO2削減に取り組むことができる便利な「記録表」です。毎月の、電気・ガス・水道・ガソリンや灯油などの使用量を表に記録して、1月から12月までの1年分のCO2を計算することができ、さらに前年と比較することで、CO2の削減に意識的に取り組むことができます。

ぜひ記録して、楽しみながらご活用ください。

(「生活の記録表」用紙が必要な方や問合せは、教化部または、組織事務局へご連絡ください)

し上げます。どなたでもお気軽にご参加ください

生長の家山梨教区

甲斐見真会



感動溢れる見真会！
皆様のご参加をお待ち
しております！



日程：2024年6月8日(土)～9日(日)
両日10:00～16:00

奉納金：1日 1,200円以上 随意
(おにぎり付き)

〈主な内容〉(予定)

- ・講話(井下教化部長、地方講師)
- ・体験談・座談会
- ・浄心行・先祖感謝供養祭
- ・祈り合いの神想観



おいしいノーミート料理の
オープン食堂

4月10日(水)
12:00～13:30

ランチ 30食限定
お昼めに
お申し込みください！

地産地消・旬産旬消・無農薬・有機栽培の食材を
心がけ、健康的なランチメニューをご提供します。

料理写真は2月に提供したメニューです。

〈お知らせ〉

・3月6日の参議会において、2024年度の全国幹部研鑽会・全国大会は開催せず、ネットを使った代替行事も行わないことが決定されました。

皆様におかれましては、引き続き『“新しい文明”の基礎を作るための2024年度運動方針』に基づいた活動に、積極的に取り組んでいただきますよう、お願い申し上げます。

・3月6日の参議会で、「令和6年(2024年)能登半島地震」緊急支援の延長が以下のように決まりました。

2024年1月17日の参議会で決定した「令和6年(2024年)能登半島地震」の緊急支援の募金(以下(1)(2))の実施期間を本年5月31日まで延長する。

- (1)「令和6年(2024年)能登半島地震被災者支援募金・一般支援募金」
- (2)「令和6年(2024年)能登半島地震被災者支援募金・信徒支援募金」

「先祖感謝供養祭」

(毎月開催、以下は直近2カ月の日程)



日時：4月14日(日)10:00～12:00
5月12日(日)10:00～12:00

当日は、ZOOM(右下のQRコード)、Facebookグループ生長の家山梨教区でライブ配信します。



※ 霊牌は、教区の御祭後、宇治別格本山に送られ、最低1年間通して「聖經・讃歌」の読誦によって供養されます。

〈ゴールデンウィーク

休館日のお知らせ〉

- 5月2日(木)
- 5月3日(金・祝) 憲法記念日
- 5月4日(土・祝) みどりの日
- 5月5日(日・祝) こどもの日
- 5月6日(月・振替休日)